

事項	白輪ぎく「神馬」のシェードによる8月旧盆出荷技術															
ねらい	白輪ぎく「神馬」は、主に5～6月、9～12月に出荷されているが、7、8月出荷の栽培事例が少ない。このため、長期出荷体系の確立に向けて8月旧盆出荷技術を検討したところ、到花日数と採花期及び切り花品質等が明らかになったので参考に供する。															
指導内容	<p>1 到花日数と採花期、切り花長等</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>定植時期</th> <th>シェード開始期</th> <th>到花日数</th> <th>採花期</th> <th>切り花長</th> <th>舌状花率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月下旬 ～5月上旬</td> <td>6月 第5半旬</td> <td>45～48日 (+約4日)</td> <td>8月上旬</td> <td>110～120cm</td> <td>70～80% (+約10%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1 到花日数：シェード開始日から採花盛期までの日数  2 舌状花率：舌状花数／花弁数  3 ( ) は再長日処理を実施した際の変化する値</p> <p>2 栽培する際の留意点</p> <p>(1) 低温遭遇した親株の冬至芽等を苗に使用した場合、開花遅延や生育の不揃いがみられることがあるので、冬至芽等を2、3回刈り取るか、新母株を養成し、それらから採穂したものを苗とする。</p> <p>(2) 定植後からシェード開始までの電照は必ずしも必要としないが、親株養成期や挿し芽育苗期では、早期着蕾の可能性があるため、深夜4時間の電照を行う。</p> <p>(3) シェード処理は、12時間日長(6:00～18:00)を基本とし、採花期まで実施する。シェード実施時、内部が高温にならないようカーテンの裾を地上から10cm前後開ける。</p> <p>(4) 再長日処理を行う場合、シェード開始後、総苞形成後期から4日間の長日処理を基本とする。</p> <p>(5) 高温長日期的場合、樹勢が強くなって萼が粗くなり、開花が遅れて花型も悪くなりやすいので、施肥やかん水をやや控えて樹勢を抑える。</p>				定植時期	シェード開始期	到花日数	採花期	切り花長	舌状花率	4月下旬 ～5月上旬	6月 第5半旬	45～48日 (+約4日)	8月上旬	110～120cm	70～80% (+約10%)
定植時期	シェード開始期	到花日数	採花期	切り花長	舌状花率											
4月下旬 ～5月上旬	6月 第5半旬	45～48日 (+約4日)	8月上旬	110～120cm	70～80% (+約10%)											
期待される効果	<p>1 白輪ぎく「神馬」の作期拡大により、長期出荷体系が確立される。</p> <p>2 開花調節技術により、計画的安定出荷が可能となる。</p>															
利用上の注意事項	到花日数は、地域や夏季の気象条件によって変動する。															
担当	青森県農林総合研究センターフラワーセンター21あおもり	栽培開発部	対象地域	県下全域												
発表文献等	平成15～17年度 フラワーセンター21あおもり試験成績概要集															

【根拠となった主要な試験結果】

表1 シェード開始日と採花期、到花日数 (平成15～17年 青森農林総研フラワーセ)

年次	品種名	定植日	シェード開始日	シェード開始時の草丈	採花期			到花日数
					始期	盛期	終期	
H15 (参考)	神馬	4月25日	6月23日	—	—	8月9日	—	48日
	岩の白扇				—	8月5日	—	44日
H16 (参考)	神馬	5月10日	6月20日	66.0	8月1日	8月3日	8月5日	45日
	岩の白扇			59.4	7月27日	7月31日	8月4日	42日
H17 (参考)	神馬	5月10日	6月20日	68.3	8月4日	8月4日	8月6日	46日
	岩の白扇			59.4	7月29日	8月2日	8月3日	44日

(注) 1 採花期：始期－10%、盛期－50%、終期－90%採花した日  
2 到花日数：シェード開始日から採花盛期までの日数

表2 切り花品質 (平成15～17年 青森農林総研フラワーセ)

年次	品種名	切り花長 (cm)	花首長 (cm)	茎径 (mm)	切り花重 (g)	調整重 (g)	葉数 (枚)	柳葉数 (枚)
H15 (参考)	神馬	112.2	2.8	6.2	85.3	56.3	40.7	1.2
	岩の白扇	94.5	3.9	4.4	44.6	36.6	32.3	2.0
H16 (参考)	神馬	111.6	1.7	6.8	79.4	62.4	47.9	1.1
	岩の白扇	100.7	2.3	5.9	54.4	45.7	41.2	1.5
H17 (参考)	神馬	116.4	1.7	6.4	72.8	51.2	46.0	0.9
	岩の白扇	100.0	2.0	5.9	53.8	44.1	39.8	1.4

(注) 調整重：90cmの長さにし、下葉を15cmかいた重さ

表3 再長日処理の効果 (平成17年 青森農林総研フラワーセ)

再長日	採花盛期 (月/日)	到花日数 (日)	切り花長 (cm)	花首長 (cm)	舌状花数 (枚)	管状花数 (枚)	舌状花率 (%)
有	8/8	50	111.7	1.5	230.1	35.6	86.6
無	8/4	46	116.4	1.7	195.7	63.3	75.6

(注) 1 供試品種：「神馬」  
2 定植日及びシェード開始日は表1と同じ  
3 再長日：シェード処理開始後、総苞形成後期から4日間長日処理(7/2～7/5、自然日長)  
4 舌状花率：舌状花数/舌状花数+管状花数

【耕種概要】

- 栽培環境：硬質プラスチックハウス(無加温)
- 施肥量(kg/a)：窒素：りん酸：加里＝2.0：2.0：2.0
- 栽植様式：うね幅130cm、条間15-30-15cm、株間7.5cm、4条植え(無マルチ)、無摘芯栽培
- 電照処理：平成16、17年実施 定植日～6/19(21:30～2:30 暗期中断5時間)
- シェード：使用資材－シルバーポリ、シェード期間－採花期まで実施  
シェード時間－平成15年18:00～8:00(10時間日長) 16、17年18:00～6:00(12時間日長)